

平成24年3月7日

3月12日に釧路駅で日本と台湾のSL姉妹列車提携文書交換式を開催し、 両国で同時刻にSLが重連で運転されます

過日(2月8日付けプレスリリース)お知らせした、JR北海道C11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK124SL列車の姉妹列車提携文書交換式の詳細概要が決定しましたのでお知らせします。

また、当日は「SL冬の湿原号」の発車時刻(11:09)に合わせ、台湾においても台北近郊の新竹駅において締結祝賀セレモニーと同時刻(1時間の時差のため10:09)発の臨時列車が運転され、祝賀ムードを盛り上げます。

さらに、当日は両国ともSLを重連で運転しますので、迫力ある雄姿がご覧頂けます。

1 姉妹列車提携文書交換式

- 日時 平成24年3月12日(月曜日) 10時35分より
- 場所 釧路駅3番ホームにて
- 参加者 北海道旅客鉄道株式会社 取締役釧路支社長 矢崎 義明
台湾鐵路管理局 副局長 鹿 潔身 LU CHIEH SHEN 様
くしろ地域冬季観光開発協議会 副会長 徳永 哲雄 弟子屈町長 他
- 内容 10:35～ 参加者紹介、あいさつ
10:55～ 提携文書交換式
10:57～ ヘッドマークレプリカ授与 台湾SL模型受領
10:59～ ヘッドマーク取付(SL先頭でスパナで締結)
11:02～ タブレット授与式(駅長→台鉄鹿様→SL運転士)
11:09 SL出発(汽笛も台湾で同時刻に吹鳴します)
- その他 当日はC11 171とC11 207の重連で運転します。
姉妹SL締結を祝し特製ヘッドマークを付けて走行します。
台湾からの来賓や関係者のみ乗車頂き、一般の方は乗車頂けません。
セレモニー見学は釧路駅の入場券購入(160円)により一般の方も可能です。



2 台湾 新竹駅～内湾駅間SLCK124&CK101重連運転

- 区間 新竹～内湾、及び内湾～新竹(新竹駅は台北駅から特急で1時間強)
- 時刻 10:09 新竹駅SL出発(汽笛も台湾で同時刻に吹鳴します)
12:17 内湾駅到着
14:05 折り返し列車内湾駅発車
15:15 新竹駅到着
- その他 当日はCK124とCK101の重連で運転します。
新竹駅においてもセレモニーを開催すると伺っております。
営業列車として運転し、一般の方も切符購入により乗車可能です。

参考



CK101SL 列車

- ・イベントで運行されている。
(運転日は不定期)
- ・CK101 は大正 6 年に日本国内で 400 型として製造。
- ・戦後 CK101 と改称。
- ・台湾鐵路管理局が保有。
- ・台湾で最初の動態復活 SL。
- ・重連の際は背中合わせで運転し、往復とも先頭になる。



CK124SL 列車

- ・イベントで運行されている。
(運転日は不定期)
- ・CK124 は昭和 11 年に C12 型蒸気機関車として日本国内で製造。
- ・日本統治時代に台湾へ移転。
- ・戦後 CK124 と改称。
- ・台湾鐵路管理局が保有。